

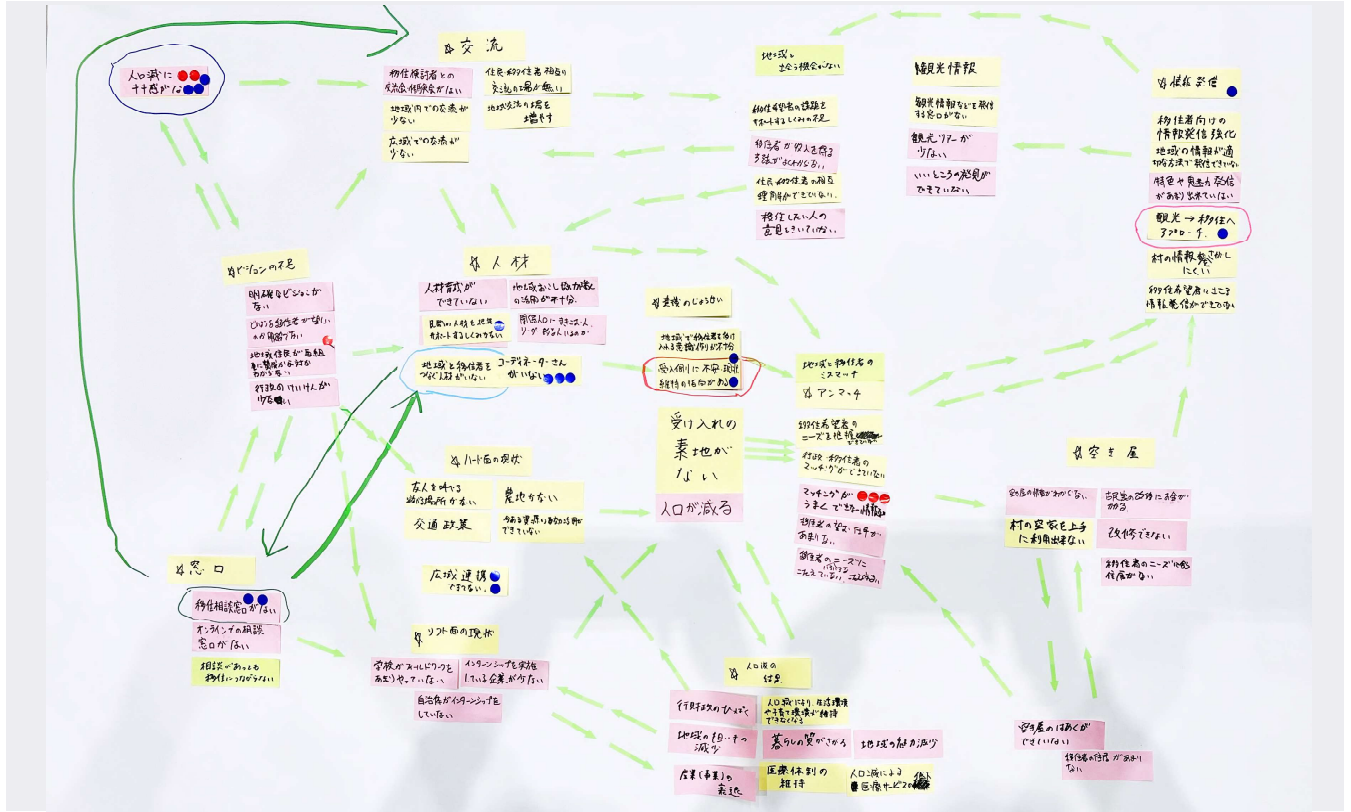
移住者や関係人口を受け入れる素地づくり

自治体名

昭和村

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのかを、「問い」のかたちにもとめました。

1 来村から移住へつなぐアプローチ不足

地域とつながりのある住民と外部の人が、地域にも外部にも情報を共有することで関係人口を増やすために、何が可能か？

2 情報共有・情報発信の不足

買い物（野菜）や食事をして帰る観光客が、昭和村での体験を通じて、より強い興味・関心を持ってもらうために、何が可能か？

3 地域住民の危機意識の不足

人口減・生活インフラの維持に無関心な地域住民が、移住者や関係人口の必要性、自分にとってのメリットを周囲と共有することで、危機感を持ち、積極的な行動をおこすようになるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

Show!  
WA! JUMP!

昭和村の情報集約サイトを作り、メディア露出を増やす。インスタグラムやYouTubeなど若者向けのもので発信や広告などを行う。プロジェクトの例としては、農地でビーチバレー大会をしたり、農家系 YouTuber、外部から芸人に来てもらいレポートをしてもらうなど。

エポリューション  
道の駅

行政と道の駅が協力して、来た人が楽しい道の駅をつくる。新鮮野菜の配送やエンターテインメント、グルメ、ポイント付与。道の駅・週末カーシアター、回転野菜などのイベントを開く。

里帰りするなら  
昭和村

里帰りしたいと思った時に、地元で子育てしたいと思った時に、支援を受けられる仕組みを楽しくつくる。村長のあいさつを変えたり、○年後の昭和村 movie など作り、分かり易い歓迎のアピールなどで、里帰りを応援する。